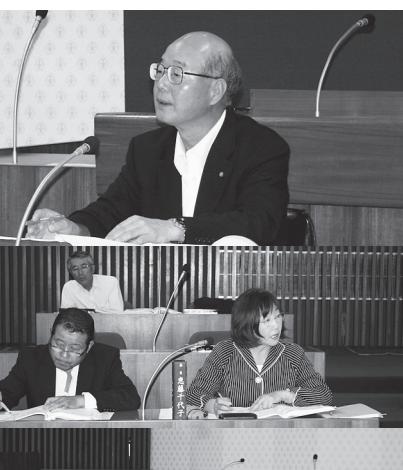




総務常任委員会



厚生文教常任委員会



産業建設常任委員会

## 6日間にわたり 『事務事業評価』 を調査

9月議会定例会中の9月21日から30日まで、事務事業評価に関する各常任委員会による所管事務の調査が行われました。

この事務事業評価は、平成20年度に市が導入したもので、限られた財源の中で効率的な行政運営を行うため、現在行っている事務事業がどのような成果を挙げているかを、客観的に評価・検証するものであります。

これまでも、議会全員協議会で、執行部から報告を受けていましたが、867にもなる膨大な事業数を、日程的な理由から、わずか1日で審査せざるを得ず、十分な審査体制を確保することが不可能であり、また、時期的に3月に

実施していたため、次年度予算に議会の意見を十分に反映することが困難でありました。このことから、今回の調査は、決算審査の時期ではある9月定例会で、総務・厚生文教・産業建設の3常任委員会ごとに、それぞれ所管する分野の事務事業を分担し、さらに、それぞれ2日間の計6日間にわたって調査することでの効果的で、充実した調査体制をとることが可能となり、様々な質疑、意見などが委員から活発に出されました。

企画調整課の『地域コミュニティ支援事業』については、「市内全体から見ると、事業の対象が一部の町に偏っているのではないか。今後も

文化振興課の『文化振興事業』では、「内部評価委員会評価は、収入の確保と経営努力を求めているが、一方、実績では全て100%を超えている。指標のあげ方そのものが、根本から間違っているのではないか。」また、「選択した指標が適切ではない。そもそも原因の把握・分析が間違っているのではないか。」との質疑があり、「40歳以上の働きざかりの未受診率が年々下がっているが、未受診者の把握と健診と健康づくり事業への案内を行っている。」との答弁がありました。

など、各常任委員会を通じて指標などに対する疑問の声が次々に出されました。

## REPORT 視察研修

今後のまちづくりや議会運営に活かします。

議会運営委員会

平成23年7月28日～29日

宮崎県小林市・鹿児島県霧島市

議会広報編集特別委員会 平成23年8月18日～19日

鹿児島県姶良市・日置市

### ○議会広報編集特別委員会

**始島市議会**の広報等調査特別委員会は、4常任委員会から2名選出され、計8名で構成されています。主な特色は、オールカラー刷りしていることで、紙面が明るくなり、掲載する写真が映え、全体的に分かりやすく読みやすい紙面となっていました。

また、市民が市の政治に直接参画できる手段として、請願書や陳情書の提出方法なども掲載しております。

**日置市議会**の広報編集委員会は、3常任委員から2名選出され、計6名で構成され

ております。  
主な特色は、表裏面カラーの2色刷りで、表紙は「子どもの笑顔」をテーマに作成しており、読者の目を引く紙面となっています。  
また、特集記事では、事業の説明や一般質問の追跡調査などを掲載しております。  
本委員会も、議会だより『声のかけ橋』を介して市民の皆さまと議会をより強く結びつけていくためにも、「読んでもらえる議会だより」をモットーに、分かりやすく読みやすい紙面づくりに取り組んでまいります。



### ○議会運営委員会

**小林市議会**は、議員数34名で6会派からなり、政務調査費は一人につき月額3万円であります。一般質問は小林市議会と同様、質問時間のみで一人30分以内としております。ケーブルテレビによる一般質問のります。

放送は、演壇で行う1回目の質問とその答弁のみに限定しておられます。議会改革の取り組みと本条例を全会一致で可決、施行され、また議会報告会についても、第1回目を本年4月に実施し、7会場で合計167名の参加がありました。

終わりに、議会改革は全国的な流れではありますが、市民の要望と地方の実情を的確に判断し、独自の議会改革を進めていくことが真に開かれた議会であるということを再度確認できました。



小林市議会での研修風景